



TelePro

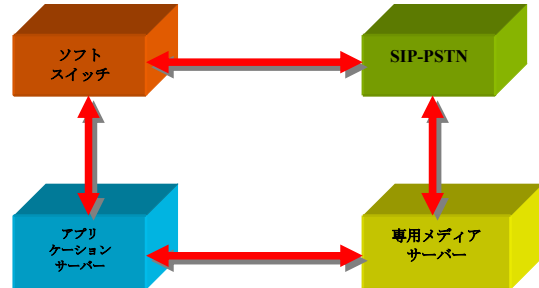
TeleProは、オープンスタンダードの考え方に基づく次世代VoiceXMLベース音声インターフェースプラットフォームです。選りすぐりの業界標準コンポーネントを使用した複雑な音声対応アプリケーションの構築を可能にします。Speechworks、Nuance、Elanなどの主要音声認識エンジンとシームレスに統合可能なTeleProは、コールセンター、保険会社、航空および鉄道、物流および輸送、銀行および金融機関などの多様な顧客のための高度音声対応アプリケーション作成を簡単かつ低コストで可能にします。

TeleProの基礎である次世代ネットワーク (NGN) アーキテクチャは、コール制御エレメントないしソフトスイッチ、アプリケーションサーバー、メディアサーバー、PSTN-IPゲートウェイから構成されます。TeleProは、このうちアプリケーションサーバーとメディアサーバーの役割を果たします。詳しくは以下の図をご覧ください。

TelePro のアーキテクチャ

TelePro は、スケーラブルで信頼性の高いオープンスタンダード型システムのメリットをフルに実現するために協調して機能するように設計されたアプリケーションサーバーとメディアサーバーのクラスターからなるスイートより構成されます。クラスターコンポーネントは、個別のアプリケーションニーズに応じて規模と負荷を調整可能です。ビルトインのロードバランシング機構により、各クラスターは利用可能なリソースから最大限の性能を発揮することができます。横の図は以下を示します。

- a) アプリケーションサーバー
- b) 専用メディアサーバー
- c) SIP-PSTN ゲートウェイ



アプリケーションサーバーは、SIP 要求を受け付け、あらかじめ定義されたコールフローを実行することによって着信した要求を処理する可用性の高いサーバーです。コールフローはVoiceXML 2.0 を使って定義します。

専用メディアサーバーは、ミキシング、音声認識などのメディアサービスを提供する(SIP 準拠の)コンポーネントです。

TelePro は以下のオープンスタンダードに準拠しています。

- a. RFC 2543 bis02(2000年11月24日付)
- b. RFC 2327 for SDP(1998年4月付)
- c. RFC 2976 for SIP INFO メソッド
- d. draft_ietf_sip_message_04.txt for SIP MESSAGE
- e. RFC 2833 for DTMF デジタルシグナリング対応
- f. RFC 1889 for RTP および RTCP
- g. VoiceXML 2.0 (<http://www.voicexml.org>, 2001年10月付ドラフト)

TelePro は、業界標準のハードウェア(Intel プロセッサ、PC アーキテクチャ)とソフトウェア(Linux、オープンスタンダードアーキテクチャ)を使用します。そのため、他の規格に準拠するネットワーク上の機器とも相互運用可能な、スケーラブルでコスト効果の高いマルチモードサービス(DTMF および音声による)のスピーディな開発が可能です。これが、投資効果の最大化、コストの最小化、陳腐化リスクの軽減を可能にする TelePro の基本原則です。